

11 移動懇話会結果

開催概要

(1) 目的

政令指定都市移行後の新たな地域のまちづくりを進めるため、東区の将来像やまちづくりの方向性を示す東区まちづくりビジョンを平成25年3月に策定する。

同ビジョンの策定は区民の参画により策定することとしており、区民の意見を聞くために東区の各出張所で移動懇話会を開催した。

(2) 移動懇話会の方法

参加者一人ひとりの意見や思い、話し合いの結果を収集し記録していくために、一つのテーブルを6人から10人程度で囲んで話し合うグループワーク形式で実施した。

(3) 移動懇話会の次第

①区長あいさつ

②区の現状説明

③グループワーク

＜テーマ1＞ 「校区のよいところ、自慢できること、気になるところ」

＜テーマ2＞ 「こんな校区にしたい」

※①～③を2時間で終了

④区長総括

(4) 開催場所と日時

①東部出張所 8月 9日（木）19時～21時

②秋津出張所 8月11日（土）14時～16時

③託麻総合出張所 8月17日（金）19時～21時

2 開催結果の概要

■東部出張所エリア

校区	最もよいところ/自慢	最も気になるところ	こんな校区にしたい
画図①	自然、水に恵まれている 歴史、伝統がある 若い人と以前から住んでいる人がいる	道が狭い 犯罪が増えた	自慢の水と共に楽しく暮らしていけるまち
画図②	自然環境に恵まれている 歴史、文化に恵まれている (江津塘・水門・中村汀女)	都市化に伴う自然環境の悪化 (生物の減少)	自然と環境を尊重し 住民の絆を大事にするまち
画図③	俳人 中村汀女の出身地であり自然環境に恵まれた土地柄である	公共交通機関整備のおくれ、道路整備のおくれ等がみられる	自然環境ゆたかなまち
泉ヶ丘	病院・商店・自然等住みやすい環境がある	役員のなり手が少なく、地域への若い人(中間層)の関わりが少ない	地域のコミュニケーションを密にして挨拶をただけでお互いの顔が分かり、子どもから高齢者の絆を深くし、江津湖等の自然を大切にするまち
尾ノ上	錦ヶ丘公園とコミセン 校区の歌とオバパト隊	通学路の安全性 ゴミ問題	いつも元気！なあいさつでウィーンのような、みんなが音楽にふれあう感動的なまち
東町・山ノ内	公共施設と商業施設に恵まれている	生活道路は狭い(が、事故少なく安全)	お年寄りと子どもがイキイキとしたふれあいのまち
健軍	校区7町内の自治会活動が活発で協力体制が密で横の連携が良い 歴史ある環境の健軍神社が中心 水と緑に恵まれている	ごみ出しマナーが良くない 若い人達の町づくりへの不参加 独居老人の増加、孤独死が散見 地形的な問題、区画整理、アップダウンが多い	健軍神社を中心としたまち 夏越し灯路まつりを校区挙げて盛り上げるまち 地域安全・安心なまちづくり

※画図校区は3つのグループに分かれてワークショップを実施

■秋津出張所エリア

校区	最もよいところ/自慢	最も気になるところ	こんな校区にしたい
秋津	ゆたかな歴史ある自然とくらしのいきづかい(農・蚕・水)	くらしのマナー向上 ゴミ・交通	おしゃべりサロンが秋津の自然とあゆみをつなぐ明日をつくるまち
若葉	生活環境がよい チームワークがある 消防団充足率100%	高齢化が進んでいる(東区内トップ) 公園が少ない 道路に段差があり高齢者には危険	若手を育成し、世代交代がスムーズにできる体制をつくり、校区発展を進める 公園が少ないので造成を要望し、高齢者、子どもたちが安心して住める地域にする 高齢者の見守り事業も展開する
桜木・桜木東	地域のコミュニケーションがとれている	調整池(公園)の活用とひろばの持続(地域のまつり等に活用)	住みたい町！！帰りたい町！！ 助け合い声かけ合える町！！

■ 託麻総合出張所エリア

校区	最もよいところ/自慢	最も気になるところ	こんな校区にしたい
西原①	子供たちの笑顔は、輝く未来。地域の皆様のご協力により明るい校区は作られます。	公園の環境整備 公共交通ルートが少ない	すべての人が生き生きと安心して生活することができ、また、インフォーマルな交流を通じて子どもたちの笑い声の絶えないまち
西原②	各種団体間の連携がうまくいっているため、校区自治協議会活動がスムーズに運営されている	ゴミ出し、公園のルールを守らない	笑顔で挨拶を交わし互いに信頼し合って、若い人が住みよい桜一杯のまち
託麻東①	災害がなく、各種団体の活動がさかん	迷惑施設が多い 土地の開発が進んでいない	益城インターを中心にしたまちづくり。佐賀県の基山の様なまち ①就労の場の確保②住居の確保をすることで③高齢化が進んだ農地をいかせる④この為には現在の都市計画を変更することが条件である
託麻東②	自然豊かな託麻三山と史跡(託麻八十八ヵ所)	農業経営者の減少による農地の荒廃 竹林の広がりとかラスの増加(フン被害など) 飛行機の騒音	託麻三山の遊歩道及び竹林を整備し、史跡めぐりやハイキングが楽しくできるまち(東区の名所に)すべての住民が安心安全に暮らせるまち
託麻西	地域活動がさかんで、もったいない隊などの高齢者の活動が活発	道路が狭くて、危険箇所が多い 人口が増えて、近隣の絆が薄れてきている	安全・安心 大人も子供も絆でつながるまち
託麻北	県下屈指の総合運動施設が自然と調和のうえ成り立っている	大型店舗が多く便利な反面、犯罪件数が多い	子どもからお年寄りまで自然に触れ合え、地域住民が共存共栄できる夢の未来があるまち
託麻南	子ども、若い人が多いが、地域のコミュニケーションがとれていて、自然環境に恵まれ、また施設などが多く住環境が充実している	人口が増え、その分交通量も多くなり、住民も多様化、そのためゴミ出しルールも悪くなっている。河川改修も必要	自然環境に恵まれた地域を生かし、子ども老人をはじめ、全住民とのコミュニケーションをはかり、またボランティア活動し、安心、安全な住みやすいまち
長嶺	災害の心配が少なく、医療福祉が充実して居る所	道路の未整備箇所が多く交通事故の危険が有る	安心、安全で絆を大切にし人情味あふれるまち

※西原校区と託麻東校区は2つのグループに分かれてワークショップを実施

東区まちづくりビジョンは、アンケートや懇話会、まちづくりワークショップ等で多くの区民の皆さんに意見をいただき、その内容を反映させながら、策定をすすめました。

また、その内容を東区ホームページやフェイスブック※、市政だよりにより継続して発信しながら、策定プロセスの共有を図ってきました。

※インターネット上で人と人がつながる場所を提供するサービス。

1. 東区振興ビジョン策定検討会

策定メンバー： 区長、次長、総務企画課長、まちづくり推進課長、福祉課長、保健子ども課長、農業振興課長、託麻まちづくり交流室長、秋津まちづくり交流室長、東部まちづくり交流室長

『第1回ビジョン策定検討会』 平成24年5月15日(火)9:30～

- (1) 東区振興ビジョンの位置づけ等について
- (2) 策定スケジュール(案)について
- (3) 「懇話会」の開催について
- (4) アンケート調査について
- (5) オープンハウス開催について
- (6) その他

『第2回ビジョン策定検討会』 平成24年7月3日(火)10:30～

- (1) 東区振興ビジョンアンケート調査について
- (2) 東区振興ビジョンの構成(案)について
- (3) 東区の現状と課題について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他

『第3回ビジョン策定検討会』 平成24年8月3日(火)9:00～

- (1) 移動懇話会について
- (2) アンケート調査結果(速報値)について
- (3) その他

『第4回ビジョン策定検討会』 平成24年9月21日(火)9:00～

- (1) 東区振興ビジョン(素案)について
 - ① 第3章 基本理念と目指す区の姿
 - ② 第4章 基本方針と重点的テーマ
- (2) その他

『第5回ビジョン策定検討会』 平成24年10月5日(火)13:30～

- (1) 東区振興ビジョン(素案)について
 - ① 第3章 基本理念と目指す区の姿
 - ② 第4章 基本方針と重点的テーマ
- (2) その他

『第6回ビジョン策定検討会』 平成24年11月2日(火)14:00～

- (1)東区振興ビジョン(素案)について
 - ①第3章 基本理念と目指す区の姿
 - ②第4章 基本方針と重点的テーマ
 - ③第5章 振興ビジョンの推進に向けて
- (2)その他
 - ①オープンハウスの開催について
 - ②職員研修会の開催について

『第7回ビジョン策定検討会』 平成24年11月9日(火)13:00～

- (1)東区振興ビジョン(素案)について
 - ①第3章 基本理念と目指す区の姿
 - ②第4章 基本方針と重点的テーマ
 - ③第5章 振興ビジョンの推進に向けて
- (2)その他

『第8回ビジョン策定検討会』 平成24年11月15日(火)14:00～

- (1)東区振興ビジョン(素案)について
 - ①第2章 区の概況、現状と課題
 - ②第3章 基本理念と目指す区の姿
 - ③第4章 基本方針と重点的テーマ
 - ④第5章 振興ビジョンの推進に向けて
- (2)その他

『第9回ビジョン策定検討会』 平成25年2月18日(月)15:00～

- (1)東区振興ビジョン(素案)の修正について
- (2)資料編(素案)について

2. 東区振興ビジョン策定懇話会

懇話会出席者：学識経験者、校区自治協議会会長、社会福祉関係者、防犯関係者、
婦人会関係者、PTA関係者、管内商店街関係者、農業関係者、
自然環境関係者、大学生

移動懇話会：8月（3回開催）

◆東区内校区の現状等について東区管内の総合出張所等（3地区）において開催

『ワークショップテーマ』

【テーマ1】校区のよいところ、自慢できること、気になるところ

【テーマ2】こんな校区にしたい

『第1回策定懇話会』 平成24年7月12日(木)14:00 各分野関係者16名

- (1)振興ビジョンの策定について
 - ・ビジョン策定の趣旨、位置づけ
 - ・検討会、懇話会の進め方
 - ・アンケート調査、オープンハウスの実施
- (2)振興ビジョンの構成(案)について
- (3)東区の概要について
- (4)振興ビジョンに関する意見交換
- (5)その他

『第2回移動懇話会』

- ・ワークショップ(東部)
- 平成24年8月9日(木)19:00 東部出張所 一般参加者36名

『第3回移動懇話会』

- ・ワークショップ(秋津)
- 平成24年8月11日(土)14:00 秋津出張所 一般参加者24名

『第4回移動懇話会』

- ・ワークショップ(託麻)
- 平成24年8月17日(金)19:00 託麻総合出張所 一般参加者66名

『第5回策定懇話会』 平成24年10月12日(木) 10:00 各分野関係者14名

- (1)振興ビジョン骨子案について
 - ①基本理念
 - ②目指す区の姿
 - ③基本方針
 - ④重点的テーマ
- (2)その他

『第6回策定懇話会』 平成24年11月14日(木)10:00 各分野関係者15名

- (1)振興ビジョン(素案)について
- (2)その他

『第7回策定懇話会』 平成25年2月22日(金)10:00 各分野関係者10名

- (1)東区まちづくりビジョン(案)の本文について
- (2)資料編(案)について

3. アンケート

①区民アンケート

○無作為抽出した16才以上の東区住民2,000人を対象

○郵送法により実施

※6月29日発送、回答数552通、回収率27.6%

②中学生アンケート

○東区内中学校9校の中学3年生1クラスを対象 回答数319通

③校区自治協議会、婦人会連合会、PTAなど各種地域団体へのアンケート（ヒアリング）

4. オープンハウス

◆振興ビジョン骨子案をリーフレットや広報パネルを活用し情報提供

◆振興ビジョン策定の経緯や骨子案等について説明、意見聴取

『第1回』 平成24年11月3日(土) 11:00～16:00
健軍商店街アーケード内

『第2回』 平成24年11月5日(月)～11月7日(水)9:00～16:00
東区役所1階ロビー

『第3回』 平成24年11月10日(土) 10:00～16:00
熊本県立大学総合管理学部棟1階
※大学生との意見交換会と同日開催

『第4回』 平成24年11月11日(日) 10:00～16:00
秋津出張所1階ロビー
※「あさひば市民のつどい」と同日開催

『第5回』 平成24年11月18日(日) 10:00～16:00
託麻総合出張所1階ロビー
※「託麻ふくしまつり」と同日開催

5. パブリックコメント及び住民説明会

◆パブリックコメント：平成25年1月10日～2月12日

◆住民説明会

『第1回』 平成25年1月18日(金)19:00 東部出張所

『第2回』 平成25年1月22日(火)19:00 託麻総合出張所

『第3回』 平成25年1月25日(金)19:00 秋津出張所

用 語	説 明	ページ
医商連携	病院や診療所、そして福祉や介護に関わる施設や機関、さらには子育て支援に関わる施設や機関と商店街とが連携する取り組みのこと。	P8
NPO	民間非営利団体法人組織の略。私的営利を目的としない社会的な使命を目的とした民間の組織のこと。	P5、P10他
オープンハウス	中心市街地や公共施設等の人が集まる場所で、パネルや模型の展示、リーフレット等の配布等、市民が気軽に参加でき、事業の説明や情報提供を受ける機会を設けること。	はじめに、P2
協働	同じ目的のために、それぞれが対等な立場で、役割と責任を担い、協力すること。	はじめに、P4、P16他
熊本市第6次総合計画	総合的・計画的な市政運営及び市民活動の指針として平成21年3月に策定され、目標年次を平成30年度とした熊本市の施策・計画などの基本となる上位計画のこと。	P1、P7他
区民	区内に住所を有する人、区内に通勤・通学する人、さらに事業者・地域団体・市民活動団体等で活動している人のこと。主に区全体としての表現として使用している。	はじめに、P1、P2他
参画	施策の立案から実施及び評価までの過程に主体的に参加すること。	P2、P16
自助・共助・公助	自助とは、他人の力によらず、自分の力で対応すること。共助とは、個人の努力（自助）では対応できない事柄に対し、グループや地域社会のメンバーがお互いに助け合って対応していくことをいう。公助とは、個人の努力（自助）や地域の助け合い（共助）では対応できない事柄に対し、国や自治体などの行政が対応すること。	P11
住民	主に校区や町内等の身近な地域で生活、活動する区民の表現として使用している。	P6、P7他
生活習慣病	生活習慣が発症原因に深く関与していると考えられている疾患の総称。日本人の三大死因である癌、心臓病、脳卒中をはじめ、糖尿病、高血圧、高脂血症、腎臓病、慢性閉塞性肺疾患、痛風、肥満、歯周病、さらには骨粗鬆症、認知症なども含まれる。	P6、P13他
第2次熊本市都市マスタープラン	平成13年に都市計画法（18条の2）に基づく都市計画に関する主に土地利用や都市整備の方向性などの基本的な方針を示す都市マスタープランを、昨今の社会情勢の変化などを踏まえて改訂したもの。	P1
地域コミュニティ	町内や小学校区など、人々が共同体の意識をもって生活を営む一定の地域、及びその人々の集団のこと。	はじめに、P5、P15
ワークショップ	特定のテーマや課題に対応するため、具体的課題の抽出及び解決等について、集団による共同作業や話し合いを通じて意見等の集約を図る手法のこと。	はじめに、P2

熊本市東区まちづくりビジョン

平成25年3月

編集発行	熊本市東区役所 総務企画課
	〒862-8555 熊本市東区東本町16番30号
電話番号	096-367-9121
FAX番号	096-367-9301
ホームページ	http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp

